

佐賀市 5 歴史探訪

さがじょう たぶせがわ 佐賀城と多布施川

佐賀城内の多布施川の流れをたどってみませんか。多布施川がお堀と初めて交差するのは、県議会議事堂の北西側で、「北の御門」があった付近です。ここから県議会議事堂の西側を通り、佐賀西高等学校の東側を経て、サガテレビの南側に至ります。ここで多布施川は北に向かって流れます。何回か折れ曲がりながら市村記念体育館の南側を通り、^{まんぶじま}万部島を経て県立病院の北側を通って「城外」に出ます。

このルートで散策すると、次のことに気付きます。

ひとつは、多布施川の水がお堀に直接流れ込んでいないことです。それは多布施川が飲料水として城内に引かれたものだからです。北の御門跡付近に立ち、多布施川とお堀の水面の高さを比べてみてください。多布施川が高く、お堀が低くなっていて、この部分には立体交差の工夫がなされています。

もうひとつは、低い南から高い北に向かって流れる部分があることです。佐賀市街を流れる川の中でも、このような流路をもっているのは多布施川だけです。これは、流域の利用度を高める目的で何回も屈曲させ、その結果北流する部分があったもので、佐賀藩政期の高度な土木技術がうかがえます。

一口メモ

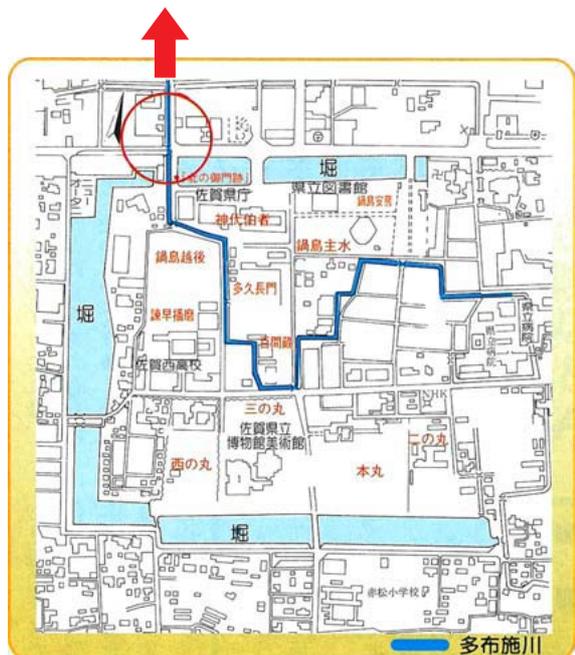
飲料水確保のため、多布施川は佐賀城の生命線といえるものですが、この流れは本丸や二の丸(附属小学校、NHK付近)には直接及んでいません。むしろ、旧龍造寺系の諫早屋敷、鍋島越後屋敷、多久屋敷などがこの川の直接的な思恵を受けています。これは、龍造寺隆信没後、その家臣団は鍋島政権下に組み入れられていきますが、その家臣団を統制していくための配慮と考えられています。



▲手前:多布施川、奥:佐賀城の北堀



▲県庁から見た佐賀城北堀と多布施川の交差



市営バス県庁前下車 徒歩3分